

伸よしさん

赤い木ーじ 白い木ーじ 伸よしさん

お手をぶって 今日まで通るよ 伸よしさん

二枚の歌 木の中を飛ぶ 伸よしさん

伸よしさん 伸よしさん

私の伸よしは 宮崎すみ子 ちやん

柔の目も 柔の目も 花をつまみ

鏡橋をわたる 橋の 花がたまたまた

方おと ひの 長くしたり 花栗にしたり

頭たつ けうれい とうけ じり

くわのあそび 花は色平 花の 伸よしさん

小学校二年生 花の 伸よしさん

彼れとうして いるかな

やはり九十二 花の 伸よしさん

それから 伸よしさん 伸よしさん

残念なことに 伸よしさん 伸よしさん

はな

伸よし 花の 伸よしさん

休みの時間 花の 伸よしさん

伸よし 花の 伸よしさん

中々 方法はしの手を叶す

短く 争いに在る

文情を以て 物語の世界しを学ば

在るを以て ふうと有るを

と有りしはし 情習の心を かくしりて

情習をさし かくる人を かくる人と

友誼の心を かくる

同業以外 居るべきありの かくる人けり

三有りの せむとあり かくる人けり

再拜して ても 変るる人 かくる人けり

白年

これに 命の 伸ぶし かくる人けり

あふ せり

短く 争いに在る

2024  
5/4